

■ 広川町PPA事業について

【環境課】

2050年までに、二酸化炭素排出実質ゼロを目指すため、町有施設への再生可能エネルギーを導入する。再生可能エネルギーを最大限地産地消し、平常時の温室効果ガスの排出を抑制、非常時には、地域防災拠点等での防災用電源として活用する。実施対象施設は、町民交流センターなど5カ所。

【全員協議会での質疑】

Q 中間目標の達成度はどのように確認するのか。また太陽光パネルを作るまでに二酸化炭素が発生するということもあるが。

A 達成度についてはモニターに表示し、デマンド値を確認しながら、計算式にあてはめて確認する。太陽光パネル製造過程の二酸化炭素問題もあるが、これが第一歩であり、今後、広川町がどういう再生可能エネルギー活用に取り組むかという計画をしっかりと作り、災害対策、地方創生の考え方を盛り込んだものでゼロカーボンシティ宣言の中身にあったものを進めていく。

Q カーボンニュートラルにおいて、二酸化炭素を吸収するマイナスの部分の提示を今後はお願いしたい。



「いこつと」の屋根に設置された太陽光パネル

■ 当条西区の廃区について

【企画課】

令和3年5月から当条西区から相談があった当条西区の廃区について、廃区による影響と町としての対応などを整理検討した結果、当条西区は地縁に基づいて形成されたほかの行政区とは違い、旧雇用促進住宅の建設を契機に設立された行政区であることや、現在の運営状況や活動状況などから今後、継続して区を運営することが困難であり、当条西区の廃区はやむを得ないと判断し、令和5年3月31日での廃区を認可する方針である。

■ 新庁舎建設の進捗状況について

【総務課】

令和5年1月現在、「現庁舎等解体工事及び新庁舎等建設Ⅱ期工事」が行われており令和5年8月末完成予定である。

請負金額は、1億9250万円、請負業者は、やひめ・大敷特定建設工事共同企業体。



広川町新庁舎 外観完成予想図